

***社会的・経済的エンパワーメントをもたらす
プログラムを通じて
女性と女児の生活を向上させる***

## 国際ソロプチミストアメリカ

**X世代の特徴**

**1965～1981年生まれ**

**2017年現在の年齢：36～52歳**

**一般的な性質：懐疑的**

Ｘ世代は、アイデンティティおよび1つの目的を探しているように見えるので、未知を意味する「Ｘ」と名付けられました。この世代は、離婚によって生み出された新しい家族制度の中で育った最初の「鍵っ子」世代ですので、自立心に富んでいます。Ｘ世代は、ベビーブーマー世代の「権威を疑う」姿勢をすぐに身に付け、親たちをがっかりさせました。この世代は、関与し、責任を負い、管理することに強い意欲を持っています。このため、Ｘ世代はリスクを取りますが、それは計算されたリスクです。このグループは、ベビーブーマーより用心深く、慎重です。

テレビを見て育ったことから、Ｘ世代は、目の肥えた消費者です。他のどの世代よりも多く広告にさらされて育ったため、それに対して洗練された目を持っています。この世代が育った時代の世界は、政治的に非常に緊張した状況にあり、それがテレビのニュース番組で24時間絶え間なく放送されていました。この世代は前の世代より、シニカルなモノの見方をする傾向があり、「人生は短いので、おいしいものは先に食べる」という姿勢を持っています。最初のデザートを食べています。」

Ｘ世代は、親たちの世代の仕事に関する定義には従いません。彼らは、親が解雇されたり、職の不安定に直面するのを目にしており、多くは、景気が低迷していた1980年代初頭に働き始めました。これらの要因から、彼らは「忠誠」の定義を見直しています。このグループは、職の安定は期待しておらず、仕事を一時的なもので、もっとよいもの、少なくとも別のものへの足がかりであると見なす傾向があります。これはまた、会員組織に加わり、会員であり続けることへの姿勢にも強く影響しています。

Ｘ世代は、人生における仕事の役割についてバランスのとれた見方を持っています。働くことに意欲的ですが、職場以外の生活を楽しみたいと思っています。お金はやる気を引き出しますが、妥当な勤務時間や個人の能力開発の機会を得ることも期待しています。また、いつでも仕事を見つけられるよう新しいスキルを学ぶことに熱心です。

この世代は、前の世代と同じようには組織・会社に忠誠を示しません。これに、仕事中心の生活を望まないことが合わさって、「怠け者」とか「やる気がない」というレッテルを貼られていますが、それはまったく正しくありません。Ｘ世代は、自分が大切だと思う仕事、難しくてもやりがいのあるもののために、一生懸命働きます。会社や組織に忠誠を尽くす換わりに、仕事の質に責任を持ちます。

Ｘ世代は、問題解決能力があり、目標を重視する傾向があります。関与し、責任を負い、管理することに強い意欲を持っています。その他の特徴としては、多様性のある文化環境の中でうまく働くことができ、職場でも一定の楽しさを望み、物事をやってのけるのに現実的なアプローチを好むことなどが挙げられます。

このグループは最近、ベビーブーマー世代とミレニアル世代の間の「真ん中の子」と呼ばれています。Ｘ世代の人は、ベビーブーマーやミレニアルより約40％少ないので、奉仕活動ができる人の数も少ないことを意味します。

Ｘ世代の特徴

*価値*

* 貢献
* フィードバックを得ること、および評価されること
* 自律性
* 管理職と過ごす時間

*性質*

* 適応性
* 独立性

*仕事のスタイル*

* 高品質の最終結果
* 生産性
* 仕事と生活のバランス
* 柔軟性の高い勤務時間/仕事を分かち合うことに関心を持っている
* フリーエージェント（組織に雇われない働き方）
* 自分を市場性のある商品と見る
* 権威を受け入れることを厭わないが、肩書にはこだわらない
* 技術面で能力に長ける
* 内部での昇進
* 民族・人種的多様性

*資料および参照：*

Generation X. (n.d). Retrieved from http://www.valueoptions.com/spotlight\_YIW/gen\_x.htm.

Sowa, C. (December 22, 2009). 6 Rules of Marketing to Generation X. Retrieved from http://www.americasbestcompanies.com/blog/6-rules-marketing-generation-x.aspx.

（翻訳：SIA作成）